

2018(平成 30)年度 事業計画

認定特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

(2018 年度の重点事業)

- ① 生物多様性保全の行動につなげる普及に関する研究
- ② CITES SC70、2019 年 5 月に開催される CoP18 に向けた情報収集・発信
- ③ イベントを通じた会員・寄付拡大

1. 研究会運営

- (1) 公開理論研究会 6月10日開催

森川 JWCS 理事:「アフリカを学びたい人へ ～広大で多様で歴史のあるアフリカをとらえる」
会場:武蔵野プレイス

- (2) 上記を会報に掲載 過去に会報に掲載した論説をホームページに再掲

2. 調査提言

- (1) 生物多様性保全の行動につなげる普及に関する研究【地球環境基金事業】

ニュースクリップの作成

世界の生物多様性保全と消費に関するニュースをデータベース化する。12 月に「JWCS の Twitter で注目されたニューストップ 10」を発表する。

- (2) ワシントン条約、生物多様性条約、ボン条約など国際会議の情報を収集、重要な資料は和訳してウェブサイトに掲載
- (3) (1)、(2)で収集した情報を活かし、パブリックコメント等で提言を行う。

3. 生息地支援

なし

4. 普及啓発

- (1) 消費と絶滅に関する情報発信【地球環境基金事業】

・小冊子「美談とされる活動の検証(仮)」を作成。

・ポスター作成 東京デザイン専門学校社会活動推進室の協力により、消費と絶滅をテーマにした「エシカル・コンシューマーになろう(仮)」を作成する。学生サークルなどを通じておもに大学に掲示をする。

・セミナー開催

8月4日(土)札幌 「フェアトレードと野生生物保全」萱野智篤北星学園大学教授、遠井朗子酪農学園大学教授 森川 JWCS 理事 会場:札幌エルプラザ

9月高松「地域活性化と生物多様性保全(仮)」谷川徹氏(四国生物多様性ネットワーク)小川 JWCS 理事

1月東京 活動のまとめ 古沢 JWCS 理事 会場:GEOC

2月名古屋 検討中

・エコプロダクツ 2018 出展

12月7-9日 成果物のポスター掲示、制作物を配布してアンケートを行う

(2) セミナーの開催

4月22日 「大人のどーぶつ倶楽部」を実施。講師：羽山伸一日本獣医生命科学大学野生動物教育研究機構長 会場：横浜市ズーラシア

3月3日 国連世界野生生物の日記念イベントを実施。

(3) IUCN 日本委員会にじゅうまるプロジェクトの登録団体としてイベントに協力

7月21日 IUCN 親善大使のイルカさんコンサートでブース展示。

(4) 講師派遣およびパネルや動画などの貸し出し

(5) メールマガジン、ウェブサイトなど電子媒体による発信

イベントと連動させ、効果的な広報を検討する

5. 国際会議参画

(1) CITES における日本に関する議題の情報発信

2018年度 CITES に関して以下の動きがある

① 2018年前半にイワシクジラに関する CITES 調査団来日

②第30回動物委員会(2018年7月16-21日ジュネーブ)にウナギ属の報告書が提出される。

③第70回常設委員会(2018年10月1-5日ソチ)にてイワシクジラとウナギ属に関する勧告が予想される

これらに向けた事業として

① 4月11日「NGO 共同声明 ワシントン条約を遵守し、イワシクジラの流通を停止することを求めます」を政府に送付

② 動物委員会に 2017年に引き続き真田康弘氏(早稲田大学地域・地域間研究機構 研究院客員准教授/客員主任研究員)を派遣(費用は科研「地球環境ガバナンスとレジームの変動—CITESの発展・変容と国内実施」)。

③ 常設委員会に参加、帰国後に参加報告会を開催。

6. 会報発行

年3回発行。論説と普及用読み物(裏表紙)はウェブで公開する。

7. NPO 運営

(1) 事務局員2名(週3相当)、1名(週2相当) ボランティア2名で運営。

(2) 2019年3月に認定NPO 継続申請を行う。継続期間は5年。

以上